2026年11月13日

各 位

会社名　株式会社スペースマーケット
代表者名　代表取締役社長　重松 大輔
（コード番号：4487　東証グロース）
問合せ先　事業基盤部門長　瀧 直人
（Tel. 050-1744-9969）

2026年9月期通期連結業績予想と実績値との差異及び繰延税金資産の一部取崩しに関するお知らせ

当社は、2026年9月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。
また、2026年9月期において、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、繰延税金資産を取り崩しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1．2026年9月期通期連結業績予想と実績値との差異（2026年1月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株あたり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,221	134	126	113	9.36
実績値（B）	2,170	99	112	79	6.59
増減額（B－A）	△51	△35	△13	△34	△2.77
増減率（%）	△2.3	△26.1	△10.9	△29.6	△29.6

2．差異が生じた理由

当連結会計年度においては、スペースマーケット事業における利用スペース数の増加やグループの拡大等により、売上高は前年同期比23.1%増の2,170百万円となり、引き続き成長いたしました。一方、売上高は前回発表予想を下回り、営業利益についても、売上高の未達及び成長に向けた投資の影響により、前回発表予想を下回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額の計上等が影響し、前回発表予想を下回りました。

3．繰延税金資産の一部取崩しについて

当社は、2026年9月期において、繰越欠損金の使用見込み及び将来の課税所得の見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討いたしました。その結果、繰越欠損金の利用が進展したこと等に伴い、繰延税金資産の回収可能額を見直し、繰延税金資産27百万円を取り崩し、同額を法人税等調整額として計上いたしました。

なお、本件は税効果会計に基づく会計処理であり、営業利益及び営業キャッシュ・フローに直接的な影響を与えるものではありません。

4．業績への影響

上記の繰延税金資産の取崩しによる影響は、本日公表の「2026年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上